

大学共通テストは、1月16日に実施決定。大学入試まであと7か月、210日。

一度解いた過去問こそ、宝の山、幸福の青い鳥です。

ていねいに復習し、定着のための3大練習で、すべて身に着けましょう

開倫塾

塾長 林明夫

〈お読みになりやすいように、QandAの形でお送りします。あらかじめ、ご了承ください〉

Q 大学共通テストは、2021年1月16日に実施が決定。大学入試まであと7か月、約210日となりました。大学共通テストに向けての受験勉強のポイントは何か。

A 3つあります。

- (1) 受験する教科を、高校の教科書、自分のレベルに応じた参考書を用いて万遍なく勉強することが第一です。
- (2) ただし、高校3年生の範囲は、学校の授業が終わるのを待っていては、「本格的な受験勉強」をするのに、間に合いません。
- (3) 受験する教科は、教科書・参考書を用いて、早めに、できれば、8月いっぱいには、高校3年生の学習範囲を、スミからスミまで、十分に理解して、すべて身に着ける(定着させる)ことです。これが、ポイントの第一です。



Q ポイントの第2、「本格的な受験勉強」とは、何か。

- A**
- (1) ポイントの第2は、過去に出題された問題、所謂(いわゆる)、「過去問」を用いた勉強です。
 - (2) 「大学共通テスト」は今年度が初年度ですので、昨年度までの「大学入試センター試験」の問題を、「過去問」とお考え下さい。
 - (3) ①この大学共通テストも、私立中学入試、中高一貫公立校入試、高校入試と、まったく同じです。
 - ② 受験勉強で第1に大切なポイントは、出題教科の教科書・参考書などをスミからスミまで、よく理解して、すべて身に着ける(定着させる)ことです。
 - ③ 受験勉強で第2に大切なポイントは、一度、過去に出題された「過去問」の勉強です。



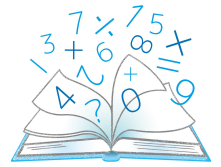
Q では、この「過去問」の勉強はどのように行えばよいのですか。

- A**
- (1) まずは、「過去問」を試験時間内に解き、自己採点をすることです。できた、できないと一喜一憂するのもいいですが、大切なのは、問題を解き、自己採点した後です。
 - (2) 「解説解答」を読む前に、もう一度、今度は、じっくり、学校の教科書を予習するようつもりで、問題文の「本文」、「設問」、「選択肢」を、一語一語、理解することです。
 - (3) 英語や国語、社会、理科の「過去問」は、予習をするときに教科書を読むようつもりで、問題文の「本文」を、じっくり「声を出して」読み込んでみましょう。「音読」ですね。
 - (4) 読んでいて、意味の分からない「語句」が出てきたら、辞書や各教科の教科書・参考書・用語集などを用いて調べる。調べた内容は、ノートに書き写しておきましょう。

- (5)「設問」や「選択肢」も同じようにじっくり読み込む。意味の分からない語句があれば、辞書や教科書、参考書や用語集などを用いて調べることです。
- (6)さらにおすすめなのは、「過去問」の「解説・解答」を、学校や開倫塾の先生方の授業をお聞きする熱心な態度で、「一語一句」ゆるがせにしないで、熟読玩味(じゅくどくがんみ)、しっかり読み込むことです。
- (7)そして、「解説・解答」の中に、意味のよくわからない語句があったら、辞書・教科書・参考書・用語集などを用いて調べることです。調べた内容は、「ノートに書き写す」ことです。
- (8)ここまで終えたら、一度このように学び終えた「過去問」の「本文」「設問」「選択肢」「解答・解説」を、徹底的に「音読練習」「書き取り練習」をすることで、スミからスミまで覚えること、身に着ける、定着させることです。このように、教科書と同じような態度で、「過去問」から学ぶことが大切です。
- (9)この方法で5年分～10年分の過去問をていねいに勉強することが、「本格的な受験勉強」です。

Q 数学や理科の計算を含む問題は どうすればよいのですか。

- A (1)一度、「過去問」を解き、「自己採点」するところまでは、同じです。そのうえで、もう一度、ノートに全問解いてみることをお奨めします。
- (2)よくわからない問題も、「解答解説」と読む前に、教科書や参考書、数学辞典・物理・化学・生物辞典などを用いて、自分の力で考え、もう一度解き直すことをお奨めします。
- (3)そのうえで、学校や開倫塾の先生方の授業をお聞きするような熱心な態度で、「解説解答」を、必要なことはノートを取りながら、一語一語読むことをお奨めします。
- (3)そして、数日後、もう一度、同じ過去問に挑戦する。これが、おすすめの勉強方法です。



Q 最後の3つ目のポイントは何ですか。

- A (1)「受験生としての自覚」をもって、受験当日まで、自分自身を律しながら、「自律的に行動」することです。
- (2)「勉強の方法を工夫」すること。具体的には、開倫塾の「塾生ハンドブック 2020」で示されている効果の上がる学習方法を参考に、自分の力で、勉強の仕方を考え、実行することです。
- (3)「眠る時間以外は勉強する」くらいの気持ちで、毎日、熱心に机に向かうこと。具体的には、塾の授業のある日もない日も、開倫塾で、午後からより10時30分(東京は10時)まで、自学自習に励むことです。
- (4)①新聞を、毎日、30分以上読み、自分で考える力、批判的思考能力を身に着けること。
 ②自分の好きな本を、毎日、1時間以上読む。本は最後まで読む。そして読書を通して、思慮深さを身に着けること。
 ③辞書を1日10回以上引き、語彙力を身に着けること。身に着けている語彙数、ことばの数の多さは力です。
 ④新聞・読書・辞書を活用して、受験勉強と入試に耐えられる高度な「読解力」を身に着けることです。「読解力」なくして、学力向上なし、受験勉強なしです。



2020年6月18日(木)16時15分